

情報公開文書 観察研究のお知らせ

研究課題名

画像特徴量を用いた病理学的悪性度予測とその放射線治療計画への応用

研究の目的

がん治療にはその病理学的な診断が非常に重要です。手術であれば、手術の後にその検体を用いて詳細に検査を行い病理学的診断を付けることが可能ですが、放射線治療や化学療法の前にはそのような検査はできません。針生検などで病変の一部を採取し検査を行いますが、病変のごく一部を用いた検査であり、十分な情報を得られないことや、診断がつけられないこともあります。そのため、放射線治療の前に、病理学的診断をより正確なものにすることが求められています。

CT や MRI などの医用画像から画像特徴量を抽出し解析する手法があり、それを Radiomics 特徴量と呼びますが、それらから病理学的診断を予測するモデルを作成することとしています。

さらにそれらのモデルを利用し、放射線治療の計画の際に病変の部位を自動で設定し、悪性度が高いと考えられる部分への線量の増加や、悪性度の低い部分への線量の低減などが可能かどうか、評価することとしています。

研究の対象

京都大学医学部附属病院で2000年1月1日から2022年7月31日の間に、当院にて放射線治療が行われた症例を対象としています。予定研究対象者数は約2万人と推定されます。

研究期間

研究実施期間：研究機関の長の実施許可日から5年

研究の方法

該当症例につき、以下の情報をカルテや画像保存通信システムより抽出します。

- ・ 性別、年齢、体重、身長、既往歴、家族歴など
- ・ 臨床検査
- ・ CT、MRI などの医用画像データ
- ・ 病理学的検査
- ・ 治療後の経過

本研究のために患者さんに新たな検査をお願いすることはありません。

なお、本研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部および医学部附属病院医の倫理委員会の審査を受け、研究機関の長の許可を受けて実施するものです。

研究成果発表

学会や学術誌等で報告を行います。

個人名や個人情報公表されることはありません。

お願い

上記対象条件に該当する患者さんにつきましては、カルテ記載事項や画像など必要なデータを研究に利用させていただくことをご了承ください。

本研究の詳細を知りたい場合には、研究計画書および研究方法に関する資料を入手・閲覧が可能ですので、下記までお問い合わせください。ただし、知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。他の研究対象者患者さんの個人情報に関してはお答えできません。

なお、本研究への診療情報の利用を望まれない場合も、下記までご連絡ください。

研究資金・利益相反

本研究は、運営費交付金により実施します。特定の企業からの資金提供は受けていません。利益相反については、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査されています。

研究責任者

京都大学大学院医学研究科 放射線腫瘍学・画像応用治療学

平島 英明

電話:075-751-3762

FAX:075-771-9749

病院相談窓口

京都大学医学部附属病院 臨床研究相談窓口

(Tel):075-751-4748

(E-mail):ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp